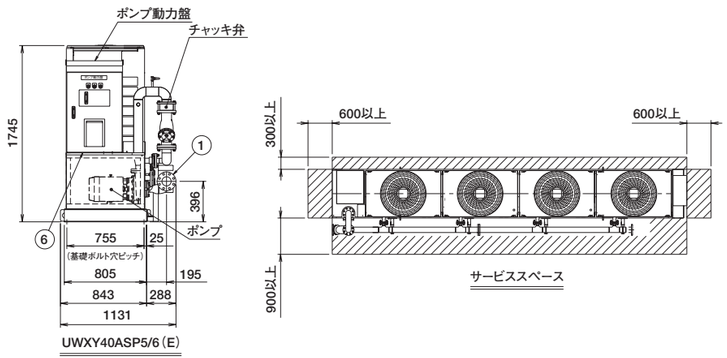
冷却能力 …100kW
加熱能力 …106kW

■外形寸法図（単位:mm）

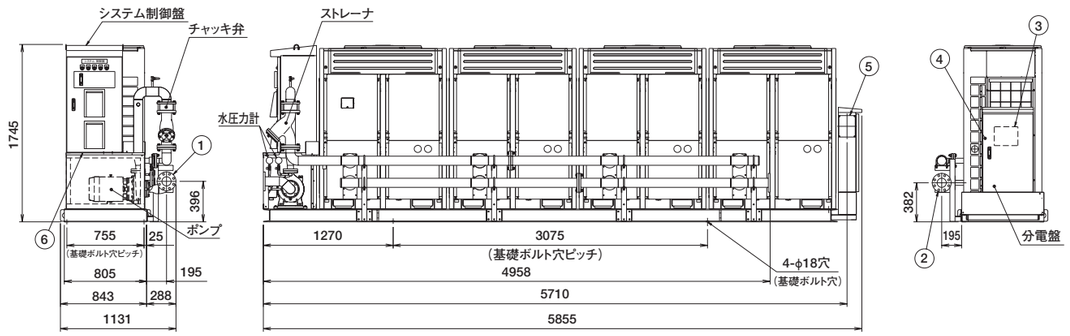


UWXY40ASP5/6（E）

①水入口	3B（80A）フランジ（JIS10K）
②水出口	3B（80A）フランジ（JIS10K）
③電源端子台	M16（分電盤内）
④アース端子	M8（分電盤内）
⑤電源取入口	□180×130（盤左右共）
⑥システム制御線取入口	□200×150

注）1. 冬季の運転時に、10m/s以上の風を受ける場合は、防風板の取付・防風壁の設置等の防風対策が必要です。
2. 防風板取付の場合は、防風板先端より本図で示すサービススペースが必要です。
3. 現地施工配管は支柱等で固定し、チリングユニット配管に荷重がかからないようご注意ください。

● 据付所要スペース
周囲の壁高さには制限があります。設置場所選定の際には「据付サービススペース」を参照ください。



UWXY40ASC5/6（E）

■標準仕様

（50/60Hz）

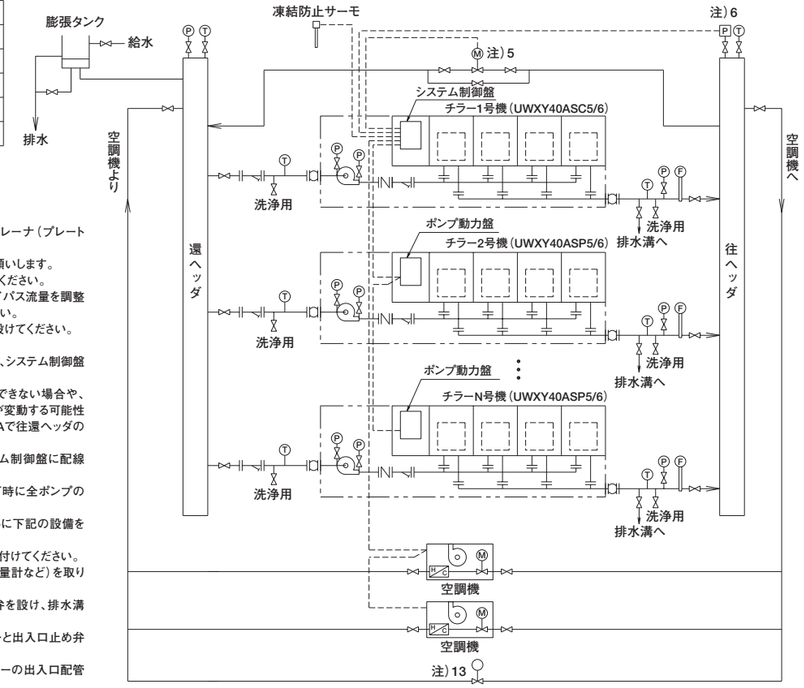
項目＼機種（呼称HP）			UWXY40ASC5/ASC6（システム制御盤付）	UWXY40ASP5/ASP6（ポンプ動力盤付）
外装			アイボリー（5Y7.5/1）	
電源			3相200V　50/60Hz	
外形寸法（mm）			1745×5855×1131	
冷却※1	※3 能力（kW）		100	
	冷水水量（ℓ/min）		287	
	機外揚程［ポンプ5.5kW］（kPa）		500/520	
加熱※2	※3 能力（kW）		106	
	温水水量（ℓ/min）		304	
	機外揚程［ポンプ5.5kW］（kPa）		483/509	
製品（運転）質量（kg）			2020（2100）	2010（2090）
電気特性	運転電流	※1 冷却時（A）	128/128	
		※2 加熱時（A）	130/127	
	始動電流	※1 冷却時（A）	381/367	
		※2 加熱時（A）	381/367	
	消費電力	※1 冷却時（kW）	39.4/39.5	
		※2 加熱時（kW）	40.4/40.4	
	力率	※1 冷却時（%）	89/89	
		※2 加熱時（%）	90/92	
圧縮機	形式		全密閉形スクロール式	
	電動機出力（kW）×台数		（3.75×1＋4.5×2）×4	
	始動方式		直入方式（インバーター方式）	
	※4 容量制御		100～30-0	
水側熱交換器			プレージングプレート式	
空気側熱交換器			クロスフィンコイル式	
送風機	形式		プロペラファン	
	風量（m³/min）		220×4	
	電動機出力（kW）×台数		0.75×4	
除霜方式			電子ディアイサー式	
冷媒制御			電子膨張弁	
温度調節器			電子サーモ（出口水温制御）	
保護装置			高圧圧力開閉器、過電流保護装置（圧縮機、ポンプ）、ファンドライバ過負荷保護装置、インバーター過負荷保護装置（圧縮機、ポンプ）、低圧保護機能、逆相保護機能、吐出ガス過熱保護機能、凍結防止機能、可溶栓	
冷温水出入口管			3B（80A）フランジ（JIS10K）	
冷媒			R410A	
法定冷凍トン			24.44/27.24	
※5 高圧ガス保安法に基づく手続き			届出	
標準付属品			取扱説明書、据付説明書、保証書、ヒューズ、高圧ガス製造届出書、警戒標	

※1 運転条件：冷水出口温度7℃、出入口温度差5℃、外気温度35℃（D.B.）　※2 運転条件：温水出口温度45℃、出入口温度差5℃、外気温度7℃（D.B.）6℃（W.B.）　※3 ポンプから冷温水への入熱は含んでいません。　※4 ※1,2の条件での容量制御範囲となります。運転条件により容量制御範囲は変化します。　※5 複数台設置（合算）時は手続き内容が変更になる場合があります。
※6 チラー付属の冷温水配管（チラー内部以外）の保温はお客様にて実施してください。　※7 漏電遮断器（インバーターの場合は高調波対応品）は技術資料、仕様書の「機外配線要領」に記載されている容量のものを必ず設置してください。

■システム制御機能

項目		内容	備考
熱源台数制御	接続台数	●熱源機（チラー）：最大8台 ●空調機（エアハンドリングユニット）：最大63台	——
	熱源機運転台数制御	●チラーの運転ロードによる負荷算定 ●チラー効率を重視した運転台数決定 ●送水温度補償による台数増段機能 ●サーモOFF機の即時停止により台数変動を防止	●台数制御なし（全数運転）も選択可能
	熱源機ローテーション	●圧縮機運転積算時間の比較による運転順位決定 ●連続運転24時間経過毎に強制増段し、ローテーションを促進	●運転時間を平準化し、システム寿命の長期化を図ります。
	順次始動機能	●複数チラーが一斉に始動する場合、順次始動を実施（カレントラッシュ防止）	——
	異常熱源機スキップ制御	●異常停止時にバックアップ熱源機を起動 ●異常停止機を台数制御から除外	——
	デマンド制御	●デマンド信号入力により運転台数を制限します	オプション
	強制除外機能	●メンテナンス時など指定チラーを除外できます	——
変流量制御	変流量制御	●負荷側へ送水する熱源用ポンプで変流量を実施 ●空調機の運転状態監視により必要最低圧力でポンプを運転	——
	チラー運転安定化制御	●ポンプ周波数変化の制限機能によりチラー能力を安定させます。 ●ヘッダー間バイパス制御によりチラーの最低流量を確保し、チラー運転を安定させます。	——
	流量変動抑制機能	●チラー台数変化時の流量変動を抑制	——
変温度制御（VWT制御）		●空調機の運転状態に応じて送水温度を自動変更し、チラー運転効率を向上 ●空調機の還気温度を監視し、冷房時の湿度上昇を防止 ●変流量制御と干渉しないスマート制御	変温度制御なし（送水温度固定）も選択可能
その他	空調機連動制御	●空調機に連動したシステム運転停止	集中管理機器から熱源システムの運転停止も可能
	凍結防止制御	●冬期の停止時にポンプを暖気運転	凍結防止サーモ（現地手配）を接続してください。
	予冷予熱制御	●負荷側末端弁の制御信号を出力	オプション、末端弁は現地手配
	操作性	●タッチパネルによる操作と確認	——

記号	名称	記号	名称
Ⓣ	温度計		ストレーナ
Ⓟ	圧力計		止め弁
Ⓕ	流量計		伸縮継手
	ポンプ		サーモスタット
P	圧力センサ	Ⓜ	電動比例弁



1. 2点鎖線より外部は、製品納入範囲外です。
2. チラーには冷温水の循環ポンプと逆止弁、およびストレーナ（プレート熱交換器保護用）を組み込んでいます。
3. チラー付属の配管の保温工事は、お客様にて実施をお願いします。
4. 配管接続位置及び管径は、外形図及び仕様表をご参照ください。
5. 往きヘッダと還りヘッダの間にバイパス回路を設け、バイパス流量を調整する電動比例弁（操作信号4-20mA）を取り付けてください。
また、図のように比例弁をバイパスする回路と止め弁を設けてください。
操作信号線をシステム制御盤に配線してください。
6. 往きヘッダには、4-20mA出力形の圧力センサを取り付け、システム制御盤に配線してください。
開放型膨張タンクからの給水がチラー入口近くに接続できない場合や、密閉型膨張タンクを使用する場合など、ポンプ入口圧力が変動する可能性がある場合には往還ヘッダ間の差圧センサとし、4-20mAで往還ヘッダの差圧値を出力してください。
7. 凍結防止サーモ（外気温度スイッチ）を設置し、システム制御盤に配線してください。
冷温水配管とポンプの凍結防止のため、外気温度低下時に全ポンプの強制運転を行ないます。
8. チラーの保守・管理のため、配管に止め弁を設ける以外に下記の設備をご用意ください。
（1）温度計、圧力計を各チラー配管の出入口近くに取り付けてください。
（2）各チラーの流量確認のため、流量計（ピトー管式流量計など）を取り付けてください。
（3）チラーと止め弁との間の配管の最低位置に排水弁を設け、排水溝まで配管してください。
（4）チラーの薬液洗浄用の座および止め弁を、各チラーと出入口止め弁との間の配管に設けてください。
9. チラーの振動が配管に伝搬するのを防止するため、チラーの出入口配管に防振継手を使用してください。
10. ポンプ保護のため、チラー入口配管にストレーナ（10メッシュ程度）を設けてください。
11. エア抜きを鳥居配管部および配管の最高部に設けてください。
12. 膨張タンクの高さとチラー入口管径をポンプ吸い込みが負圧とならないように設計・施工願います。
13. 空調機停止中の熱源スタンバイ運転を行う場合、利用側（空調機）の主配管末端にバイパス弁を設置することが可能です。バイパス弁開信号はシステム制御盤より出力します。
14. 水圧試験での圧力はチラー部0.7MPa以下としてください。